Q. 屋根材によって色落ちしたり、錆びたりするものがあるの？





A. はい、化粧スレートや金属は約10年～15年で塗り替えが必要です。粘土瓦は美しさがいつまでも続くから、塗り替えの必要がない屋根材です。

屋根材 比べて！POINT

色落ちしない粘土瓦

粘土瓦はお茶碗などと同じ焼き物。1,130℃の高温でしっかりと焼き締めるので、塗装と違い色落ちや色褪せがなく、耐久性に優れた屋根材です。時間がたつと、金属は錆が出たり、化粧スレートだと色落ちし、塗り直しが発生します。


錆びた金属屋根


30年後の化粧スレート屋根


30年後の瓦屋根

表面を保護したり、色を出したり…釉薬(うわ薬)の力

粘土瓦は表面に釉薬をかけてから焼成されます。釉薬は高温で焼かれると安定したガラス質に変化し、含まれた顔料が多彩な色を生み出します。このガラス質の層が汚れや色落ちから瓦をしっかりと守ります。

